



クローバー通信

第 168 号



令和 3 年 3 月 10 日発行

〈医療法人社団 佐々木クリニック 介護老人保健施設 クローバー〉

〒191-0054

日野市東平山 3-1-1

☎042-585-8061

【 コロナ渦でも雛人形には心が和みます 】



2月の節分など保育園ひよこハウスの子どもたちとの行事が、今年はガラス越しでもかなわず、とても残念でした。早くワクチンが行われて、コロナ騒ぎを吹き飛ばしたい思いでいっぱいですが、自国でワクチンを造れないので、アメリカの製薬会社から買うことにはなっていますが、十分量が入らずに、接種が遅れています。

今月は、1年間、皆様とほとんど交流できなかった年長組の子どもたちが卒園して、4月からはランドセルを背負ったピカピカの小学1年生になります。この子たちは、利用者の皆さんと6年間、いろんな行事を通じて交流させていただき、沢山のことを学びました。利用者の皆さんとのふれあいを通じて、人として学ぶことが多かったと思います。

思い出しますと夏祭りのお神輿、ハロウィンの行事ではご利用者の皆様からお菓子のプレゼントをいただくなど、いろんな行事を一緒に楽しんでいただきました。

隣のふれあいファームでは、もう少しで菜の花が咲き始め、春を感じさせてくれるようになるでしょう。新緑の麦の芽も伸びています。スノードロップの白い花、デイジーの赤い花、ビオラの黄色といろんな色が楽しめる時期で、チューリップ、クロッカスなどが芽を出しています。

窓から見える富士山は、真っ白で雄大な姿を見せてくれ、コロナ禍が嘘のように、この辺りの自然はとてもきれいです。

廻りくる四季の中でも、春3月、桜もたくさんの花芽をつけ、その開化は、私たちの心を和ませてくれるでしょう。もう少しの辛抱しながら、春の喜びを皆さんとともに受けとめましょう。

ウイルス騒ぎに負けずに、職員一同、皆様と力を合わせて、安全で心地よい生活に努めます。

ご利用者・ご家族の皆様の日頃のご支援ご協力に感謝いたします。今月もよろしく願い申し上げます。

佐々木 榮一

